

令和3（2021）年度 学校教育自己診断アンケート 集計結果

HP 用

<アンケート回収数・率> 11月1～8日実施

11月8～19日実施

11月1～8日実施

| ○教職員 | 回収数 | 回収率 |
|------|-----|------|
| 小学部 | 37 | 100% |
| 中学部 | 21 | 100% |
| 高等部 | 94 | 99% |
| 合計 | 152 | 99% |

*養護教諭、栄養教諭、常勤看護師は高等部に含む

| ○保護者 | 回収数 | 回収率 |
|------|-----|-----|
| 小学部 | 30 | 67% |
| 中学部 | 19 | 76% |
| 高等部 | 112 | 70% |
| 合計 | 161 | 71% |

○生徒（高等部生徒のみ）
回収数108（回収率68%）
*学校にて実施、回収

*保護者の回収率は昨年度より全体で4%減少⇒さらに回収率アップをめざし、新たな工夫が必要である。

【1】教職員アンケートより（昨年度と比較し肯定率の増減が大きかった項目）

| <項目No. アンケート内容> | 令和2年度 | 令和3年度 | 昨年との比率 |
|--------------------------------|-------|-------|--------|
| No.3 カウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導 | 78.7% | 90.1% | +11.4% |
| No.8 ホームページなどの活用 | 71.1% | 63.8% | -7.3% |

No.3 多くの教職員が児童生徒と向き合う際にカウンセリングの考え方を生かし、まずは児童生徒の気持ちを受け止めて尊重するという姿勢を大切にしている。

No.8 今年度は4月から2学期末まで休校措置をとることなく教育活動を継続することができた。昨年度のような休校中の情報提供も減ったことから、肯定率としては減少した。

【2】保護者アンケートより（昨年度と比較し肯定率の増減が大きかった項目）

| <項目No. アンケート内容> | 令和2年度 | 令和3年度 | 昨年との比率 |
|---------------------------------|-------|-------|--------|
| No.6 生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てる教育 | 90.2% | 94.4% | +4.2% |
| No.7 ホームページ等での教育活動の情報提供 | 94.3% | 83.8% | -10.5% |

No.6 日々の学校生活の中で起こるさまざまな事象に対して、たとえ些細な出来事であっても、その都度教員が丁寧に向き合って対応することで子どもたちの道徳心が育っているとの評価である。

No.7 今年度は感染防止対策を講じながらも通常の教育活動が展開されたことで、保護者にとっては昨年度のように日々ホームページを確認することがなくなったため、肯定率が減少した。

【3】生徒アンケートより（今年度最も肯定率が増加した項目）

No.5 学校にはなんでも相談できる友だちがいる 令和2年度 61.7% ⇒ 令和3年度 69.4% (+7.7%)

➡ 肯定率が7.7%増加した。「信頼できる友だちがいる」と言える生徒が増えた結果は大変喜ばしいことである。